



(岩室小学校で)

今月は62年2月21日から3月20日まで
に届出を済ませられたものです。

うぶごえ (出生)

あかちゃん	誕生月日	保護者	住所
藤村麻	2.10	作 藏	橋本室栄
佐藤間	2.18	一 博	岩室栄
本坂友	2.24	芳 道	石瀬和12
有田恵	2.24	武 也	和11室
高野弥	3. 7	辰 治	岩室和12
石添香	3. 7	賢 司	
松崎佑	3. 8	和 郎	
	3. 9		

おめでた (結婚)

結婚した人	前住所	新住所
田 松 夫	西船越	西船越
辺 貴 子	吉田町	榎曾1
(松縄)	卷町	石瀬
中山晴	榎曾1	石瀬
(山川)	間	石瀬
中 山 秀	新潟市	石瀬
石 塚 順	出雲町	石瀬
(遠山)	石瀬	石瀬
小池 浩	石瀬	石瀬
鈴木 弘	石瀬	石瀬
武 田 久	石瀬	石瀬
(村井)	惠美子	卷

おくやみ (死亡)

氏 名	年齢	死亡月日	世帯主	住所
樋口 寅太	(82)	2.23	寅雄	北野
大岩 ミナ	(79)	2.25	正雄	原 畑
野水 テイ	(83)	2.25	寅栄	高 榎
解良 是心	(82)	3.10	……	曾 井
阿部藤一郎	(72)	3.14	サヨ	夏 井
竹内 ミヨ	(74)	3.19	一男	西船越

(敬称略)

暮らしの健康

親子の心の健康

子供の気持ちを知ろう!



新・シリーズ(1)

文責/保健婦

見守る親になろう

親子といえども別個の人格を持っています。しかし、子供をわがもの顔に自由にできると考えている親がいます。その親自身も元をただせば子供だったのに、子供特有の心をもはや忘れてしまっているの考えを子供に押し付けようとするのです。

子供を親の考えどおり動かすことは許されませんが、またできるものでもありません。親は子供の心の動きを客観的にながめるゆとりを持ちたいものです。しかし、子供の心の成長をあるべき姿のままにじっと見守ることができる親は、残念ながら少ないものです。

我が子の幸福を願わない親はいないはずなのに親の考えとわが子のやり方が正

しく、それが子供の幸福につながるという考えでは、それこそ子供にとってありがた迷惑ですね。

しかるべきことの意味

しかられることで子供は親が「自分のことを真剣に考えてくれてるな」と感じます。しかし、しからなくてもいいこととでしかったり、気分次第でしかたりするのは逆効果です。

しかり方も、「そんなことをすると笑われるから」と世間体を気にするしかり方や「お父さんにしかられるから」と、いったしかり方、他の子供らと比較したやり方は良いしかり方ではありません。そういうことをすると、「どうしていけないのか」「他の人がどう困るのか」といった大切な部分が理解できませ

親子の心の健康



住民票などが一通 300円に

手数料条例が改正され、住民票の写しや印鑑証明などが今月から 300円になりました。

- 改正手数料(各三百円に)
 - 身分や職業に関する証明、印鑑登録証の交付・登録に関する証明(各一件)
 - 土地に関する証明(一件)
 - 建物に関する証明(一件)
 - 償却資産・租税及び公課に関する証明、外国人登録や住民票の記載事項に関する証明(各一件)
 - 住民票関係の交付(一件)
 - 住民票関係の閲覧(一件)
 - 公簿の閲覧・照会及び公簿や公文書の謄本・抄本の交付(各一件)
 - 埋火葬許可証交付済証明書の交付(一件)
 - 火葬認許証の交付(一件)
- ※その他前各号以外の諸証明



▽対象：村内に住む婦人のかたならどなたでも参加できます。

▽会場：岩室村公民館です。

▽申込み：今月二十日までに岩室村公民館(☎044-444)へお申し込みください。なお、料理教室は定員になり次第締め切りですので、お早めに……。

公民館の「婦人講座」受講生募集中

潤いある生活を

	料理教室(昼のコース)	料理教室(夜のコース)	婦人学級
定員	30名	30名	制限なし
受講日(回数)	5月13日(水)～ 毎月第2水曜日 (8回)	5月18日(火)～ 毎月第3火曜日 (8回)	5月から平日の 午前中に開催 (年6回)
時間	前10:00～12:30	後6:45～9:30	
内容	身近な材料を使った、調理の実習と技術・栄養のバランスなどの知識を学習する	主婦の知恵袋をより充実するため、身近な生活課題をテーマに学習する	
費用	1回 700円(材料費)		無料

国民年金



七千四百円に

保険料が今月から

国民年金の保険料が、今月から一か月七千四百円(いままでは七千円)に引き上げられます。

国民年金制度は、老齢や障害などにより働けなくなったときに、年金によって生活を保障することを目的としています。

いつの時代にあっても、年金の価値を社会情勢に応じた水準に保つていかなければなりません。また人口の高齢化が進むなかで年金を受ける人が

が増え、年金の支払いに使うお金が年々増えていきます。年金制度は、老齢世代を若い現役世代が扶助し、また次の世代へと順々にバトンタッチしていく世代間の相互扶助の上に成り立っています。

家計をあくさる奥さんにとって、保険料のアップは頭の痛いことですが、老後の柱となる国民年金制度が健全な年金財政を維持するため、みなさんご理解、ご協力をお願いいたします。

耳よりな話

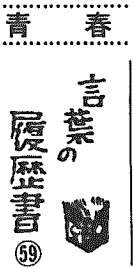
耳の不自由な方のための補聴器相談会

村では、耳の不自由なみなさんのため、補聴器の正しい使い方や修理・点検などの相談会を行います。

▽とき：四月二十日(月)午後一時半～四時

▽ところ：役場住民相談室(一階ロビー前)

▽問合せ：役場住民福祉課福祉係(☎044-444-1111内線113)へ



「青春まったただ中」とか「青春まるかじり」といった表現があります。人生の春に当たる若い時代を指す「青春」は、何でもない言葉のようですが、実は遠く中国の「陰陽五行説」とつながっているのです。

中国では古来、万物は陰と陽の二気によって生じ、五行(木・火・土・金・水)という元素から成ると考えられてきました。木と火は陽、金と水は陰に属し、土はその中間にあるとされたのです。

方角では東・南・西・北・中が、木・火・金・水・土に当たります。季節でいえば、春・夏・秋・冬・土用、色でいえば青・朱・白・玄・黄となるわけです。四季の異称は春が青と結ぶ「青春」で、あとは「朱夏」「白秋」「玄冬」。北原白秋の号も、これに由来しています。

相撲の四本柱の方角と色も同じで、それぞれに青竜・朱雀・白虎・玄武の四神が配されていました。

たしかに、春は木々が青くなる季節ですが、「青春」にはそれだけでなく、古代中国の思想が秘められているのです。